

石川町資源調査調書

通し番号	163	整理番号	19	-	001	作成	平成19年1月
名称	小和清水				項目	公園	
管理	住所	石川町大字曲木字小和清水地内					
	連絡先						
	管理者及び所有者						
概要	<p>その昔、この地方を治めた豪族真垣荘司安田兵衛国康の一子・玉世姫（後の和泉式部）が、産湯を浴びた清水と伝えられている。どんな旱魃でも水量は減らず、里人に恵を与えたという。またこの清水を飲むと大変声が良くなり、歌が上手くなると伝えられている。</p>						
参考文献	<p>石川町ホームページ http://www.town.ishikawa.fukushima.jp 和泉式部の里を訪ねて</p>						
関連項目	和泉式部（8-002）						
備考							



写真及び位置図等



全景



位置図


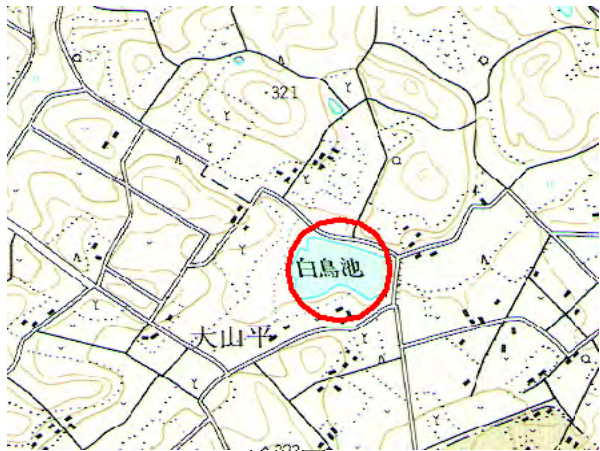
石川町資源調査調書

通し番号	164	整理番号	19 - 002	作成	平成19年1月
名称	あさひ公園		項目	公園	
管理	住所	石川郡石川町字南町地内			
	連絡先	石川町役場 TEL 0247-26-2111 (代)			
	管理者及び所有者	石川町			
概要	<p>町の中心部を流れる北須川と今出川の合流点に位置する公園。 今出川河畔の公園として平成8年に完成し、利用者の憩いの場として、また、北須川遊歩道からの散歩コースとしても、親子連れから若者まで年間を通してたくさんの人に利用されている。</p> <p>春は桜の名所で知られ、北須川や今出川の両岸の数百本に及ぶ桜並木は圧巻である。また、開花時期にはライトアップもされ、桜まつりのメイン会場となり多くの人でにぎわう。</p>				
					ライトアップされた公園
参考文献	石川町ホームページ http://www.town.ishikawa.fukushima.jp 石川町観光パンフレット				
関連項目	あさひ公園の桜(1-005) 今出川(16-006) 北須川(16-008) 桜祭り(7-001)				
備考					
写真及び位置図等					
					
桜が満開のあさひ公園			位置図		

石川町資源調査調書

通し番号	165	整理番号	19	-	003	作成	平成19年2月
名称	にほんぶな				項目	公園	
管理	住所	石川町字大字中田字山田地内					
	連絡先	石川町役場 TEL 0247-26-2111 (代)					
	管理者及び所有者	石川町					
概要	<p>標高616Mから西方に開け八溝山、那須連峰、二岐山、磐梯山、吾妻連峰、蓬田岳のパノラマが広がるのが「にほんぶな」である。にほんぶなは、石川町の東部に位置し大字中田・坂路地内にあり、中田造林組合と中谷財産区(旧中谷村有林)の山林が大半を占める。標高600Mを越える石川町最高地の地域であぶくま高地の真っ只中にあり、石川町の景勝地として古くから管理されている。にほんぶなを水源とする水脈は阿武隈川と鮫川に分かれ遠く太平洋に注いでいる。</p> <p>中田造林組合所有の土地は、元禄7年に五代將軍綱吉に中田村の名主が年貢軽減を求めて直訴するという事件があり、直訴が認められ年貢が3分の2に削減された。その時300町分に及ぶ入会地を取得した。この入会地を明治29年に払い下げし、中田区民115人の共有地とし、現在、中田造林組合が約150haを管理している。この管理地の中に「にほんぶな」がある。また、里山の管理のひとつの「炭焼き」も古くから行われており、大正から昭和30年代までは、地元出身の大竹亀蔵が県の木炭技師として活躍し、「大竹式炭窯」と呼ばれた優秀な炭窯を考案したことから関東・東北各県で普及した。本地区でも良質の炭材としての樺や桐が自生しており農閑期の仕事として盛んに行われた。亀蔵の生家は、にほんぶなの森に隣接している。また、明治期まで馬産も盛んに行われ、中腹には、軍馬や農耕馬を生産した放牧場跡が見られ</p>						
参考文献	石川町ホームページ http://www.town.ishikawa.fukushima.jp 石川町観光パンフレット						
関連項目	大竹亀蔵(8-015) にほんぶなの清水(22-005) 義侠之碑(7-008)						
備考							
写真及び位置図等							
							
高台より石川町方面を望む				位置図			

石川町資源調査調書

通し番号	166	整理番号	19 - 004	作成	平成19年2月
名称	白鳥池		項目	公園	
管理	住所	石川町大字沢井字大山平地内			
	連絡先	TEL 0247-26-6775			
	管理者及び所有者	国有地白鳥池水利組合組合長大平幸夫			
概要	<p>白鳥池は、大池とも言われ農業用水のため人工的に造られたため池で、面積約4ヘクタール。白鳥等の渡り鳥が、数多く飛来するようになったのはいつの頃からかは判らないが、20年位前に野鳥の会が調査したときには、白鳥が約600羽、鴨類が約5,000羽が飛来したという記録がある。(吉田美一談)現在も冬になると白鳥や鴨などの渡り鳥が、数多く飛来している。</p>				
参考文献	石川町ホームページ http://www.town.ishikawa.fukushima.jp				
関連項目					
備考					
写真及び位置図等					
					
全景			位置図		